

《第139回》 令和七年一月の作品

〈二月十日（金） 於・文京シビックセンター5D〉

冬満月靴音響く裏通り (隆治)

能登復興の槌音響け冬銀河 (孝昭)

一抹の寂しさ賀状じまひかな (貴美)

碑いしがみとなりし母校に初茜はつあかね (前歩)

初富士や傘寿の我の気もきりり (奉男)

まづ筆で目玉を一つ福達磨 (一江)

極月やボロブドウールの石仏 (芙紗)

八十の齡迎へて初日の出 (正雄)

初春や陛下を仰ぐ旗の波 (正佳)

懐かしき物の一つに置炬燵 (平六)